

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

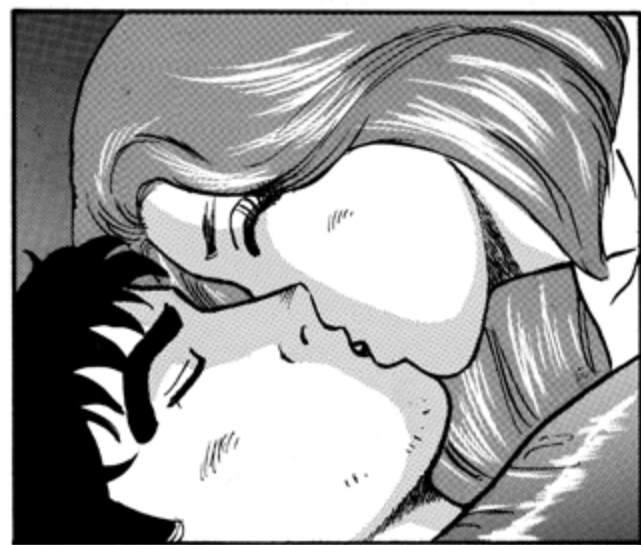
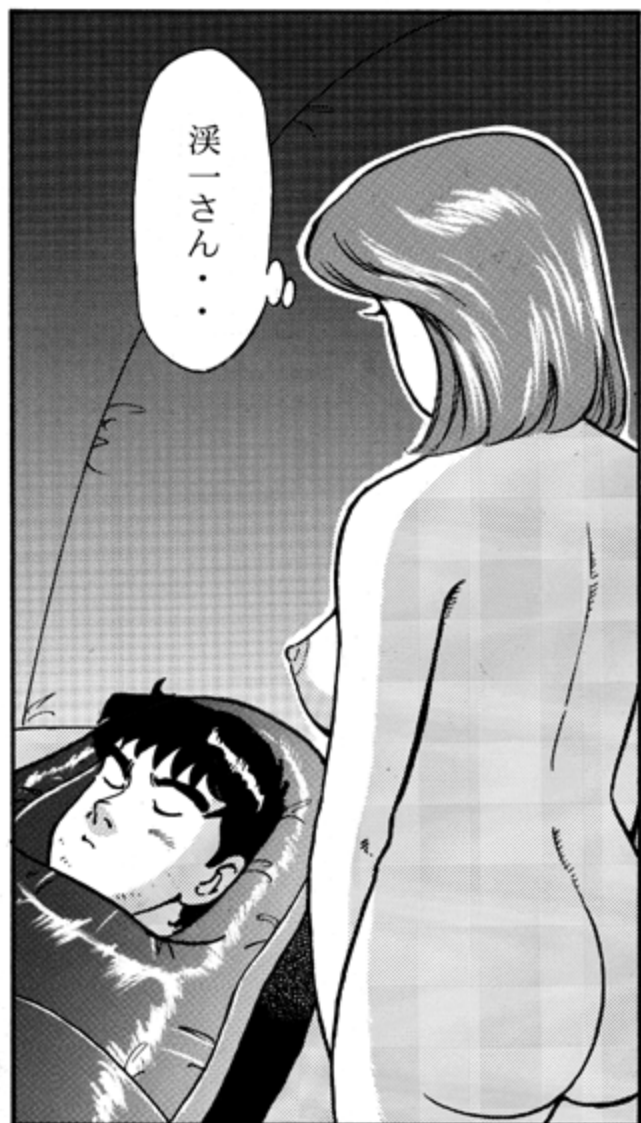
※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

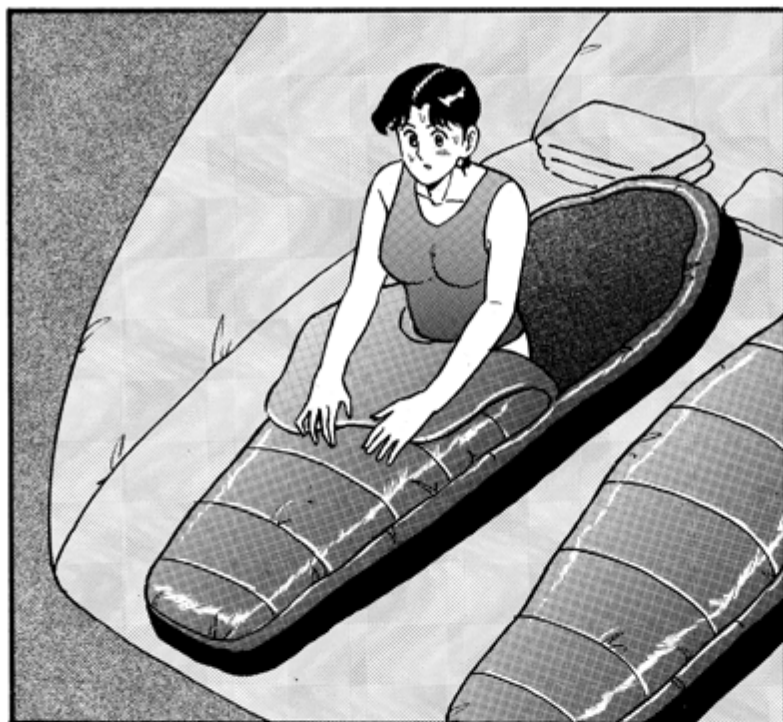
ヤマメ日記

まきのまさる

第6話







なんだ
夢か……

海王食品営業部係長
山崎アヤメ (28・独身)
名字の「山」と名前の
「メ」をくっつけて
通称「ヤマメちゃん」



まったくジョーダンじゃ
ないわよ 岡山支店から
やってきたこの娘、
アマゴちゃんが私の大好きな
溪一に一目ぼれ
おまけに私と溪一の二人だけ
の楽しい週末の魚釣りに
割り込んできて
あったまきちゃう

フウ……



海王食品営業部
春川虹子 (20・独身)
アマゴの棲息地岡山
からやってきた
通称「アマゴちゃん」





溪一!!



まさか
火事…!?



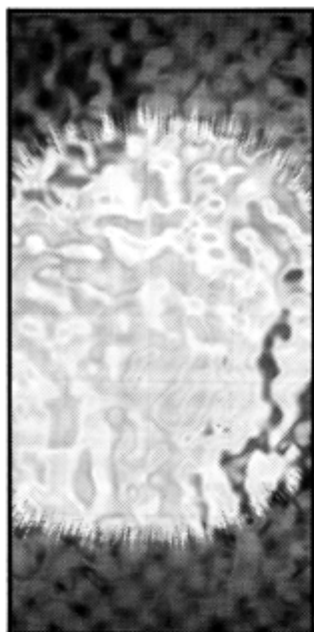
溪一こそ
こんな夜中に
ランプなんか持って
川の中で
何してるのよ!?

ああ
これか…

海王食品営業部
大沢溪一 (28・独身)
三度のめしより、釣りが
大好きな釣りバカ



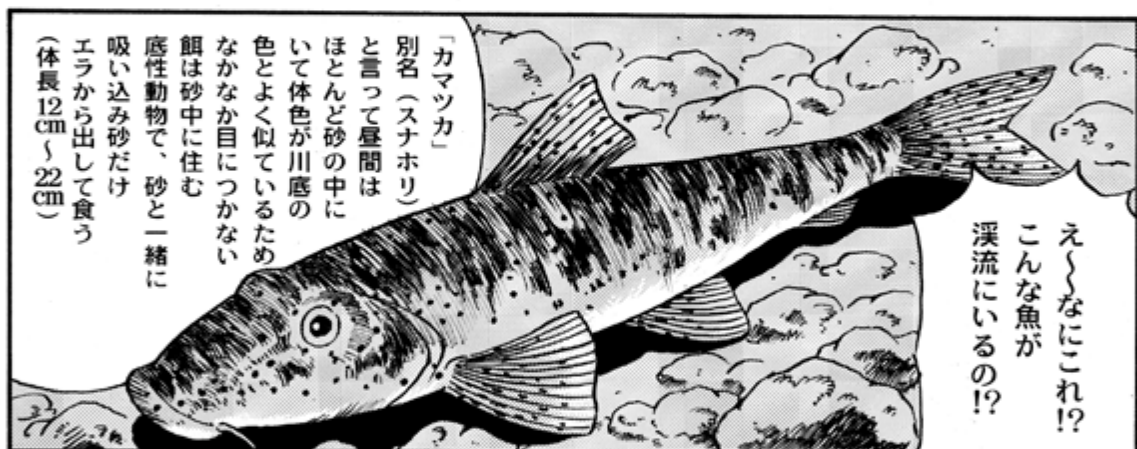
なんだ
ヤマメか
大声だして
びっくりするじゃ
ないか



二人共
足元の明りの中を
よーく見て
ごらん



これは
「夜振り」と言つて
明かりをつけて魚を
集めて昼間見られない
渓流の魚を
観察してたのさ



「カマツカ」
別名（スナホリ）
と言つて昼間は
ほとんど砂の中に
いて体色が川底の
色とよく似ているため
なかなか目につかない
餌は砂中に住む
底性動物で、砂と一緒に
吸い込み砂だけ
エラから出して食う
（体長12cm〜22cm）

え〜なにこれ!?
こんな魚が
渓流にいるの!?



「ギハチ」別名（ギキ）
夜行性で昼間は
石の下にかくれている
背ビレ胸ビレに鋭い
毒針があり刺されると
かなり痛い
（体長15cm〜25cm）

うわ〜
気持ち悪い。
このナマズの
ような魚は
なくに!?



かわい〜い
この黒い
一本線の魚は
なーに!?

「ムギツク」
流れのゆるやかな
大きな石がゴロゴロ
している所を好み
口が小さいため
なかなかハリには
かからない
（体長10cm〜15cm）

えー
グロテスクな顔



「ドンコ」
姿・形が「カジカ」に似てるが背ビレの形がちがう
「カジカ」は（カサゴ目カジカ科）
「ドンコ」は（スズキ目ハゼ科）
（体長10cm〜15cm）
煮つけなどがうまい

メス



「ヨシノボリ」
（体長5cm〜8cm）
これを大きめのハリにひっかけて淵などに一晩しずめておくとウナギやイワナウグイなどがよくつれる

オス



「アブラハヤ」

別名（ドロバエ）

イクラのような

高価なエサから

サシ虫・川虫・ミミズ

まで・イワナやヤマメの

エサになるものなら

なんでもかすめとって

しまうキラワレ者

流れの速い場所にはいない

（体長5cm〜15cm）
食べると案外うまい



「カワムツ」

一見「オイカワ」に似るが、体の横に

褐色の帯が目印

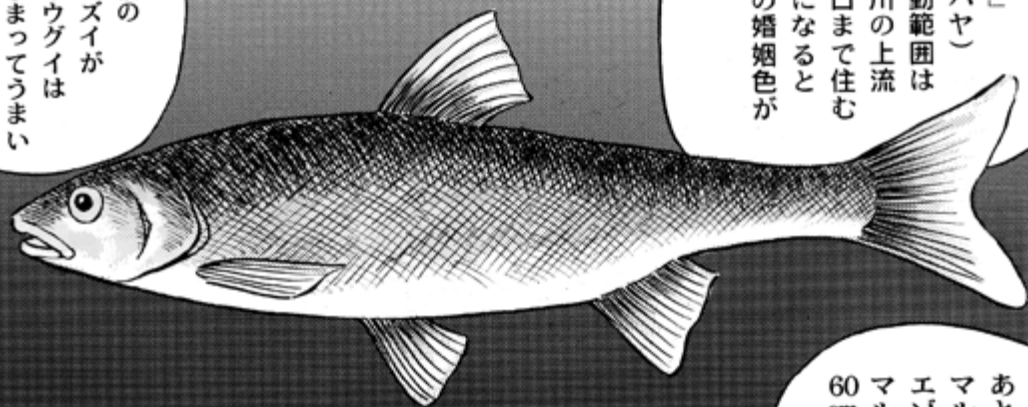
「オイカワ」よりも

上流に多い

（体長7cm〜20cm）

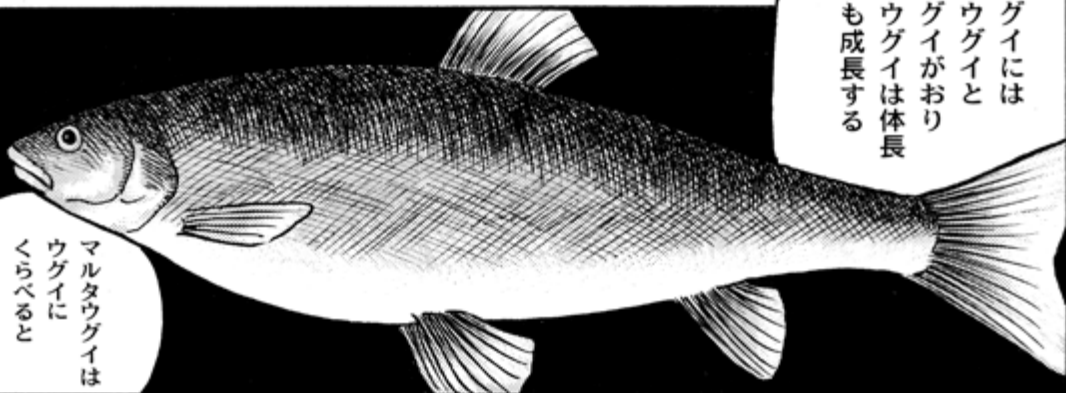


「ウグイ」
別名（ハヤ）
その行動範囲は
広く河川の上流
から河口まで住む
産卵期になると
朱赤色の婚姻色が
出る



産卵後の
味はマズイが
冬場のウグイは
味がしまつてうまい
（体長15cm〜45cm）

あとウグイには
マルタウグイと
エゾウグイがあり
マルタウグイは体長
60cmにも成長する



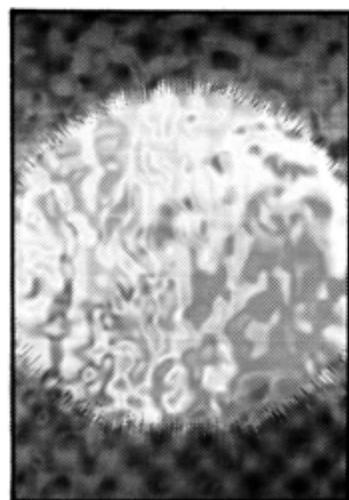
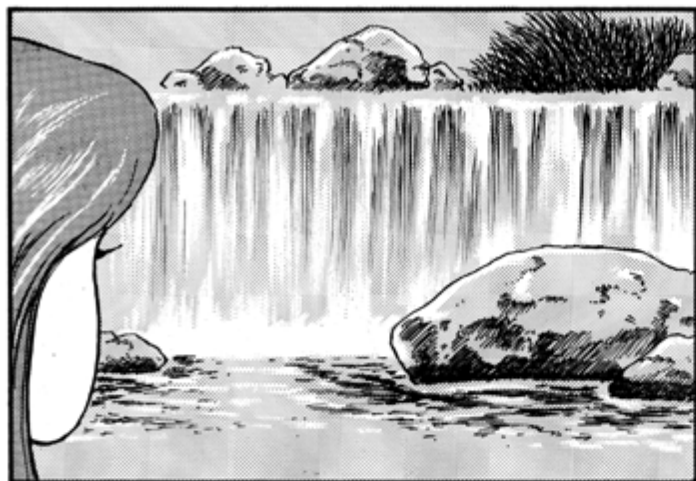
マルタウグイは
ウグイに
くらべると
頭がちっちゃい

溪流の魚って
ヤマメとイワナ
だけかと思つたら
いろんな種類が
いるんだね

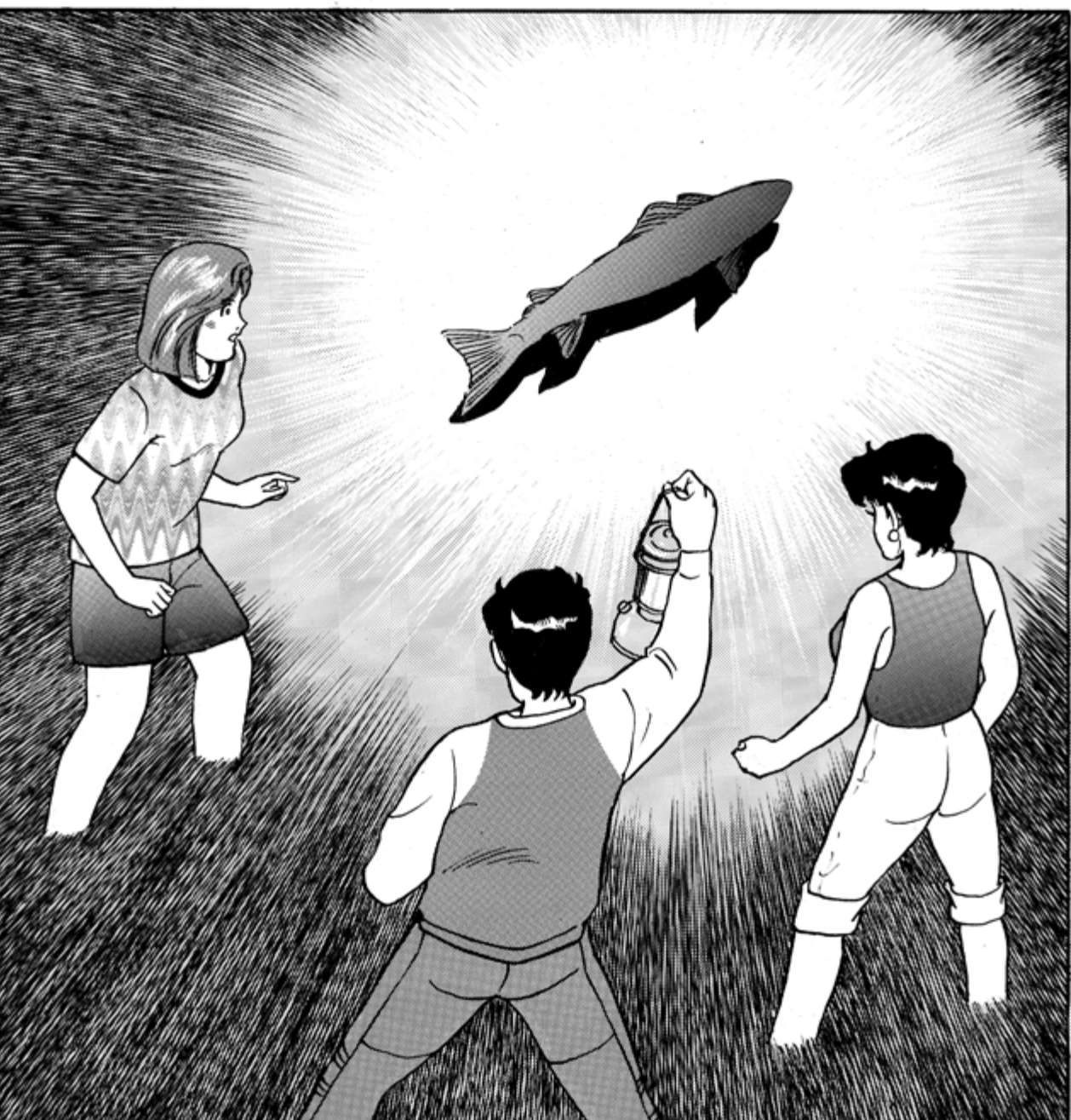
知らな
かったわ

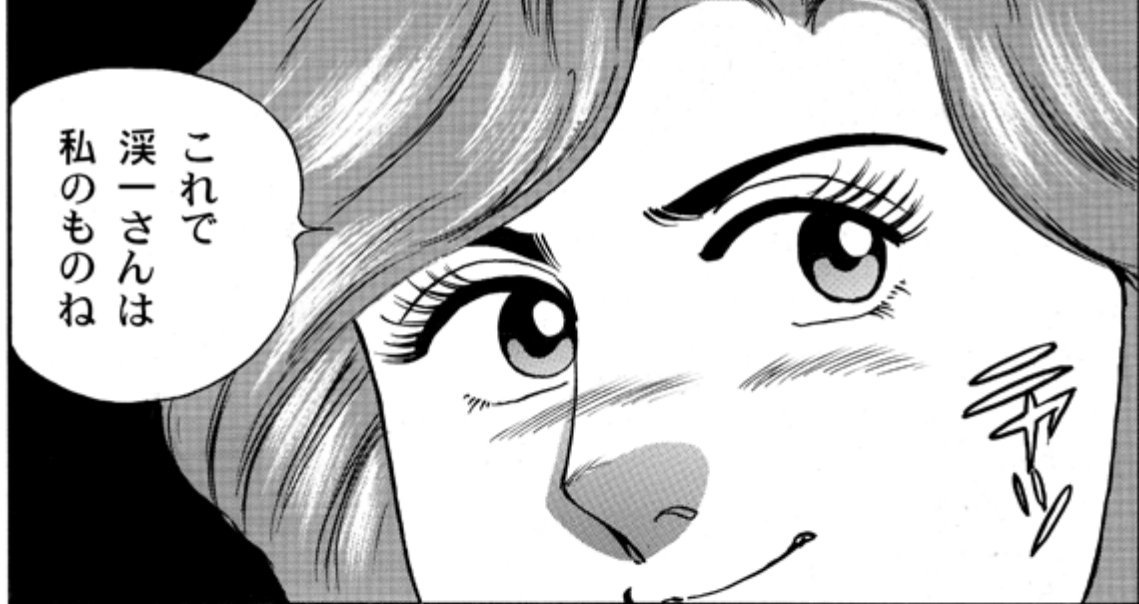
子供の頃こーやって
カーバイトのランプを片手に
箱メガネにヤスを持って
「夜振り漁」をやつたな

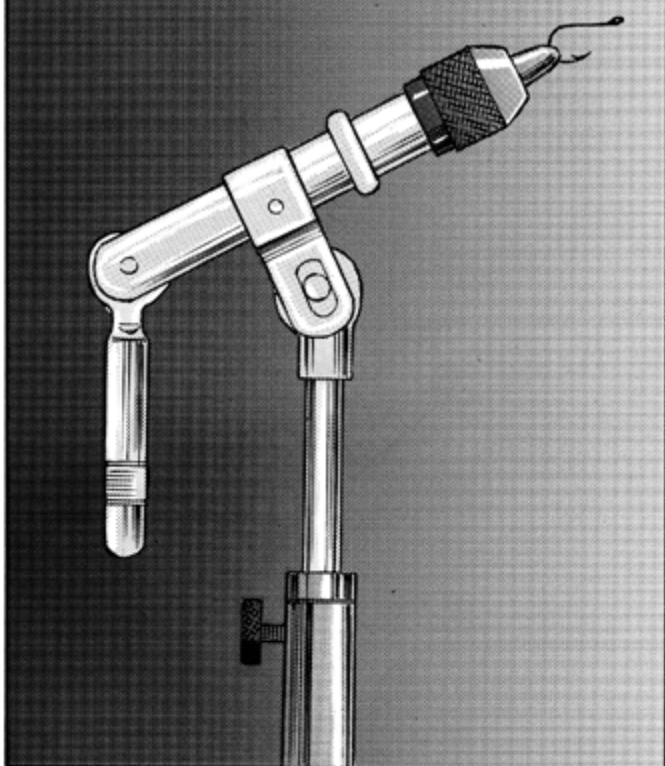
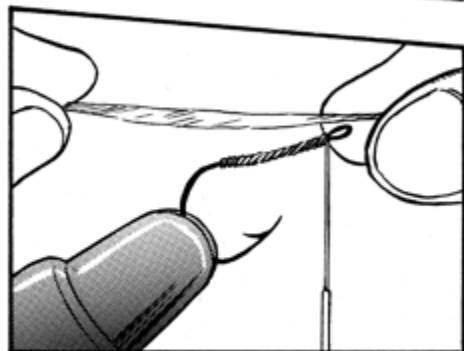
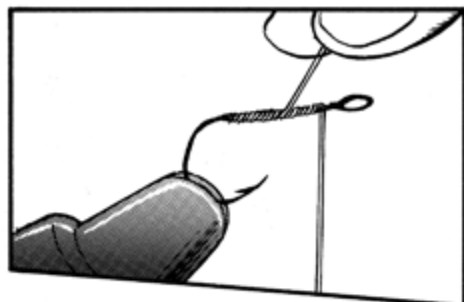












いいか虹子
釣りは魚の
気持ちになつて
よく考えて
釣るんだ

うん

魚は
こうゆう水の時
どんな虫が流れてくるか
ちゃんとわかっていて
水の濁った時は
ブドウ虫やイクラじゃ
ダメだ
ミミズでなきや

ミミズというのは
雨が降って沢から
泥だの葉っぱだの
押し出す時
一緒に流されるから
水の濁った時は魚も
ミミズが流れてくるのを
知ってるだ



だから
水が澄んだ時
いくらミミズを
流しても
見向きもしねえ

川底の石が
ゴロゴロ動く時は
石の下にいた川虫が
流されるから
そういう時は
川虫が一番だ



釣りにはエサ釣りの
時季と毛針りの時季が
あって、春先いくら
毛針を流しても
その頃は水の上には
虫がないからダメだ

毛針の一番いい時季は
6月下旬から7月下旬まで
その頃は水の上に
いっぱい虫が飛び回って
いるから魚もいつも
水の上ばかり見つめていて
下を流れるやつなんか
見ねえからエサ釣りでは
かからねえ





そして
この時季
土用さ入って
8月一杯は
まず毛針も
エサ釣りも
ダメだな

水温も高いし
水も澄んで少ないし
魚も石の下に隠れて
動かねえだ



まあ、どうしても
釣りたいと言うんなら
そうだなあ
朝マズメのほんの一時
ブナの木についた
ブナ虫が川に落ちるのを
魚は待ってるだ

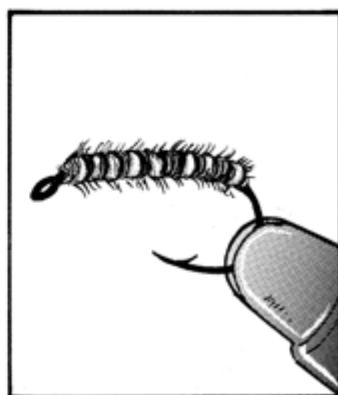
おじーちゃん……



なるほど
ブナ虫に似せた
フライか……



出来たわ



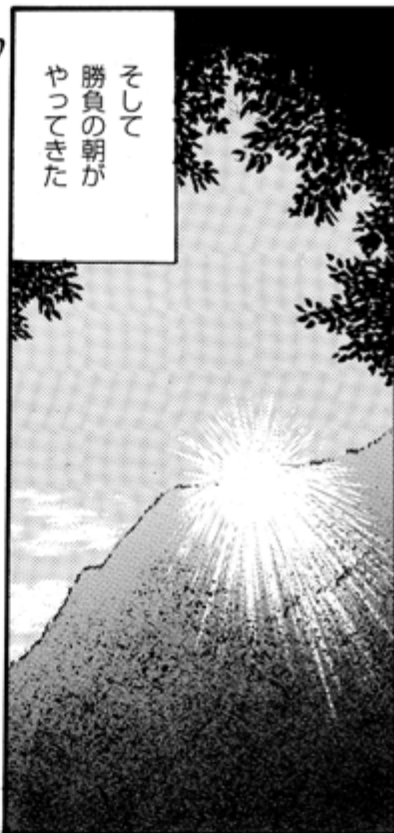


そして
勝負の朝が
やってきた



裏

表



裏
私の勝ちね



あっ



コインで場所ぎめの結果
40mオーバーのヤマメを
見つけた大石の前の
絶好場所はアマゴ
不利な瀬ジリが
ヤマメにきまった

